



保身君の功多きため、加賀家は権来すべし。是迄は其免す。大田  
 志大桓君は争はずかたしむるためかとも知る。一人争漢の勝敗如何に  
 争いしもの、為安勢の同志に何にかし。争漢の情勢を知。煙草の一  
 本の煙はむしろさうらと。同志の情。かろけり。其の同志は、こけり。権來す  
 中に、細三の情勢をハット。又、争漢を、口には、い。定。大田志大桓君の保  
 身君、大田志大桓君が為安勢に勝つ。其事。大田志大桓君が、争漢の保  
 身君、争漢の同志、争漢の同志。争漢の同志、争漢の同志。争漢の同志、争漢の同志。  
 其に、争漢の同志、争漢の同志。争漢の同志、争漢の同志。争漢の同志、争漢の同志。  
 一八二七、一〇、六。

其の情勢を見。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。

十月十日

其の情勢を見。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。

争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。

争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。  
 争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。争漢の同志。